

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	06	02	01	164370	森林保全啓発事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	5	森林の保全			
目的	森林保全の意識啓発					
対象	森林整備の関わりについて啓蒙普及を推進、実践したい市民					
意図	森林保全の意識啓発と森林保全活動の普及をする。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> 地域活動、ボランティア活動支援 豊沢川の森森林体験支援 修学旅行体験支援 <input type="checkbox"/> 森林保全意識啓発 木工体験教室 自然観察会 植樹祭 <input type="checkbox"/> 森林保全活動啓発 山しごと入門講座 自伐型林業養成講座						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	各種イベントの開催回数	回	計画	3	5	
			実績	2	6	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	各種イベント総参加人数	人	目標	180	330	
			実績	98	325	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="checkbox"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
森林保全について、啓発するため、各種イベントを開催した。子供たちを対象とした植樹体験を取り入れたことからほぼ目標達成することができた。今後も市民のへ森林に対する意識啓発を図る必要があることから、継続して実施する必要がある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	森林の多面的機能について理解を深めていくための活動であり妥当。
	<input type="checkbox"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	イベントの内容や種類を増やすことで成果を向上させることが可能と思われる。
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	地域活動、ボランティア活動への支援により、コスト抑制に努めている。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	<input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市民全体を対象とした事業である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	<input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
森林保全の啓発は、森林の持続的な経営と多面的機能の発揮には不可欠であり、これを市が主導で進める行事のほか、地域活動等への支援をすることで、より市民の自発的活動を促すことができた。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当係長 伊藤浩之 内線 6274

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	01	164370	森林保全啓発事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,015	2,521		1,506
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	1,014	1,465		451
	一般財源	1	1,056		1,055

※特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

森林の健全な育成を図り多面的機能を発揮させる

事業開始の背景・経緯

森林の多面的機能への理解を深めることを目的に開始した。

事業概要

- 地域活動、ボランティア活動支援
 - 豊沢川の森森林体験支援
 - 修学旅行体験支援
- 森林保全意識啓発
 - 木工体験教室
 - 自然観察会
 - 植樹祭
- 森林保全活動啓発
 - 山しごと入門講座
 - 自伐型林業養成講座

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1. 地域活動、ボランティア活動支援（ゼロ予算）
 - ・豊沢川の森森林体験（会場準備、作業補助）
 - 開催時期：9月 開催場所：野外活動センター跡地等
 - 規模：300名程度 内容：植樹箇所の刈り払い等
 - ・修学旅行森林体験支援（作業補助）
2. 森林保全意識啓発 1,079千円
 - ・自然観察会 108千円
 - 役務費1、委託料50、使用料および賃借料57
 - 開催時期：6月 開催場所：大空滝～中山峠のブナ林
 - 規模：21名 内容：ガイドによる自然観察（樹木等）
 - ・木工体験教室 61千円
 - 需用費59、役務費2
 - 開催時期：はなまき産業大博覧会11月 開催場所：総合体育館
 - 冬休み親子木工教室 1月 開催場所：拠点センター
 - 規模：産業博覧会20名、木工教室59名 内容：親子木工体験
 - ・植樹祭（七折橋市有林） 910千円
 - 需用費200、委託料483、使用料および賃借料227
 - 開催時期：5月 開催場所：七折橋市有林ほか
 - 規模：180名 内容：セレモニー、植樹体験、交流会
 - （内川目小、大迫中、地元住民等）
3. 森林保全活動啓発 1,442千円
 - ・山しごと講座 898千円
 - 委託料898
 - （入門・中級編）
 - 開催時期：6～11月（全8回） 開催場所：市有林等
 - 規模：28名 内容：基礎動作、伐倒、道具の手入れ等
 - ・自伐型林業養成講座 544千円
 - 委託料490
 - 開催時期：12月（2日間） 開催場所：市有林等
 - 規模：17名 内容：作業道敷設
 - 講座開催用消耗品 54千円

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名	
一般	06	02	02	164420	森林環境保全事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-1	農林業の振興			
	施策	5	森林の保全			
目的	民有林の保全					
対象	民有林（市有林・私有林）及びその赤松					
意図	民有林を保全する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○森林病害虫駆除 赤松枯損木の伐倒駆除（焼却またはくん蒸） 市有赤松への薬剤樹幹注入作業 森林整備事業による樹種転換（市有林） 私有林赤松への樹幹注入に係る補助						
○森林管理維持増進 私有林の巡視						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 駆除材積	m3	計画		2,430	1,725	
		実績		2,430	1,314	
② 私有林巡回回数	回	計画		176	176	
		実績		176	176	
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 松くい虫被害量	m3	目標		5,969	5,126	
		実績		6,503	5,560	
②		目標				
		実績				
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	○	目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
被害が減少することではなく、県が定める被害地域区分も先端地域から高被害地域に変更になった。限られた予算と投下できる作業量から考慮すると全量駆除は困難であり、被害が激減することはないと考える。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	森林の機能維持、林業振興の妨げになる森林病害虫であるので駆除は必要。また、市街地域における生活に支障になる倒木を防ぐためにも必要な事業である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	被害対策防止のためのあらゆる対策を講じているが、根絶にはつながらない。しかし、事業を中断することは森林の荒廃から林業振興の停滞し生活に支障を来す危険な枯損木が増加するので事業を継続する必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	被害の蔓延化により、補助金の確保が困難になっている。駆除の方法や区域の見直しを検討し、効率的な駆除をすすめる。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市内全域で駆除しているので適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
被害の蔓延化により、補助金の確保が困難になっている。駆除の方法や区域の見直しを検討し、効率的な駆除をすすめる。より一層の計画的な駆除が必要である。（面的な一斉駆除等）防除対策への転換が必要である。具体的には、守るべき松林の樹幹注入、市有林が率先し樹種転換を進める。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 農林部 課名 農村林務課 担当係長 伊藤浩之 内線 6274

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	02	164420	森林環境保全事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		50,585	47,784		△ 2,801
財源内訳	国・県	19,664	19,410		△ 254
	地方債				
	その他				
	一般財源	30,921	28,374		△ 2,547

※特定財源の内訳
 森林病害虫等駆除事業補助金3,588千円・防除事業2,038千円（補助率75%）
 森林整備事業補助金[衛生伐]1,574千円（補助率75%）・[特殊地拵]7,953千円（補助率70%）
 いわて環境の森整備事業4,262千円（補助率100%）

事業期間	○ 単年度繰返	○ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
森林の健全な育成を図り多面的機能を発揮させる			
事業開始の背景・経緯			
平成8年度に市内で松くい虫被害が確認されたことにより、駆除及び防除対策を開始した。			
事業概要			
○森林病害虫駆除 赤松枯損木の伐倒駆除（焼却またはくん蒸） 市有赤松への薬剤樹幹注入作業 森林整備事業による樹種転換（市有林） 私有林赤松への樹幹注入に係る補助 ○森林管理維持増進 私有林の巡視			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

森林病害虫等防除事業 46,434千円

★ 松林を守る

市内のアカマツ林は、森林面積の22%をしめており、森林の機能を発揮する重要な因子になっているとともに、「南部アカマツ」として全国的に有名な産地であるなど地域経済に寄与してきました。

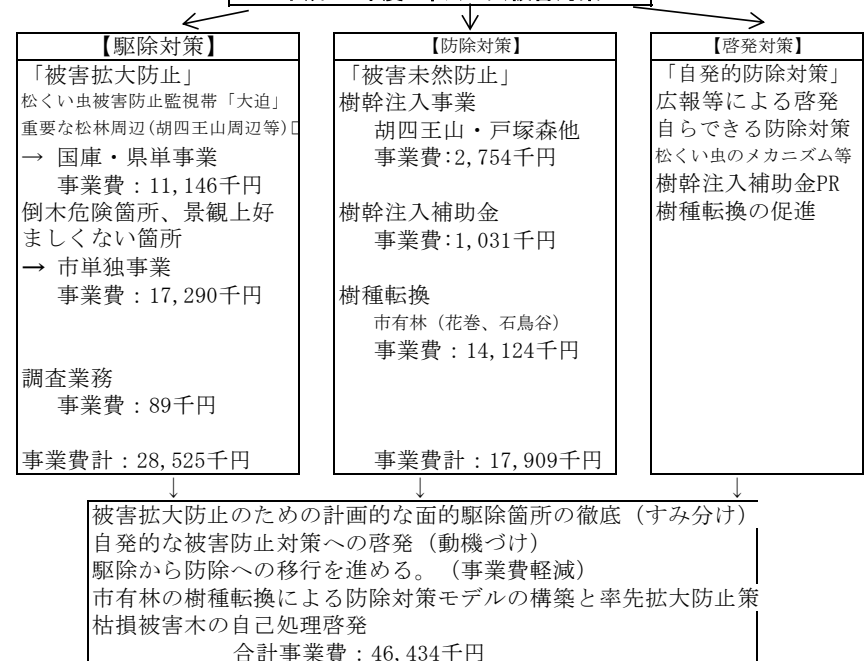
この過去から引き継がれた貴重な財産である「アカマツ」を守るため、平成8年度より病害虫対策を講じているところであります。

● 松くい虫対策の現状

被害拡大防止のため、駆除作業を重点に実施し「先端地域」として被害拡大を阻止してきましたが、被害が蔓延化し「高被害地域」に地域変更されるなど駆除が追いつかない状況にあります。現在、次のような対策を講じている状況です。

1. 国庫・県単補助事業費に加え、被害拡大防止等に単独費を導入。
2. 倒木により道路において通行に支障ある箇所や生活に支障の出る箇所の優先的な駆除の実施。
3. 守るべき松林の防除（樹幹注入等）や周辺の重点駆除

平成29年度の松くい虫被害対策



平成 29 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	06	02	02	164420	森林環境保全事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

事業費等詳細

○森林病虫害等防除委託料

【駆除分】

区分	補助率	事業量 ㎡	事業費	負担区分		備考	
				国・県	市		
国庫	森林病虫害等駆除事業	75%	217.20	4,504	3,378	1,126	
	森林整備事業（衛生伐）	75%	102.27	2,099	1,574	525	
	小計		319.47	6,603	4,952	1,651	
その他	森林病虫害等駆除事業（県単）	75%	13.67	281	210	71	
	市単独事業	-	734.07	17,290		17,290	
	小計		747.74	17,571	210	17,361	
合計①			1,067.21	24,174	5,162	19,012	

○松くい虫樹幹注入補助金（市単）
薬剤購入に要する経費の1/2以内
H29実施本数 825本、1,031,250円

H25使用薬剤本数実績 723本
H26使用薬剤本数実績 386本
H27使用薬剤本数実績 1,069本

森林管理維持増進事業費 1,350千円

- 業務内容 私有林の巡視により災害の未然防止、森林育成のための調査、松くい虫被害発見等に役立てる
- 巡視活動の方法 巡視員の業務期間は、契約期間内において47日/年とし、森林の外観パトロールを行う。必要に応じて所有者を同行し、森林内の調査、指導を行う。
- 巡視員 巡視員は森林に関する知識と地域の実情を把握し、森林施業の適切な指導及び監督ができる者でなければならないため、森林組合へ委託する。

【樹幹注入分】

区分	補助率	事業量 本	事業費	負担区分		備考	
				国・県	市		
国庫	森林病虫害等防除事業	75%	183	2,754	2,038	716	
	森林病虫害等防除事業	75%					
	合計②		183	2,754	2,038	716	

【樹種転換分】

区分	補助率	事業量 ha	事業費	負担区分		備考	
				国・県	市		
国庫	特殊地拵え	70%	8.19	14,124	7,953	6,171	花巻、石鳥谷
	合計③		8.19	14,124	7,953	6,171	

【いわて環境の森整備】

区分	補助率	事業量 ㎡	事業費	負担区分		備考	
				国・県	市		
県単	伐採	100%	246.68	4,262	4,262		
	合計④		246.68	4,262	4,262		
①+②+③+④				45,314	19,415	25,899	

事業区域について

駆除事業 【国庫】「大迫地域」「花巻・石鳥谷地域西部監視帯」「守るべき松林周辺（胡四王、戸塚森）」を重点に被害拡大防止に努める。

【県単】上記国庫補助対象区域外で保全すべき松林の周辺徹底駆除

【市単】景観上好ましくない箇所、生活環境上、倒木等により生活に支障がある箇所（道路沿線等）（個人の庭木等は対象外）

樹幹注入事業 【国庫】保全すべき重要な松林（胡四王山、向山）

樹種転換 【国庫】市有林：「特殊地拵え」により実施し、翌年度に再造林する。

いわて環境の森整備 【県単】道路及び公共施設周辺にある公益性の高い民有林（市有林を除く）